



## 都合のいい女

---

あなたに出会ったのは22歳の時。

私は経理事務として会社に入って、年上の方がほとんどの中、一つ年下で同じく新人だった整備士のあなたがいた。

全体朝礼の時にあなたを見つけた。

事務所と工場とで働く場所が違うから、話す機会もなくほとんど姿を見ることもなかった。

ある日の帰り際、歩いてる私の横で車を止めて、あなたがすごく可愛い笑顔で「お疲れ様です」って言ってくれた。

それがきっかけで、それ以来会社であなたを見かけるのが楽しみになった。

でも私はすぐに辞めてしまったから、あなたとはほとんど話せないままお別れ。

それから五年後、離婚して実家に帰っていた私に、その会社で仲良くしてくれていた人から飲みの誘いがあった。

その飲み会にはあなたも来ると聞いて、まさかまた会えるとは思っていなかったから、少しワクワクして飲みに行った。

久々に見たあなたは、昔より少し太っていて、話してみたら思っていたよりお笑い系の人だった。

別れ際、あなたが「メアドと番号交換しようよ」と言った。

少しは気に入ってもらえたのかなって嬉しかったけど、それは彼にとってはたいした意味なんてないただの私の勘違い。

それから友達として仲良くなれたけど、告白してフラれたから気まずくなってまたあなたとお別れ。

そして2年後、私が彼氏と別れた頃、あなたから「メアドが変わりました」ってメールが来た。

あなたはいつも不思議にタイミングがいい。

音信普通だった私に教えてくれるとは思っていなかったから驚いたけど、別にもう会うこともないだろうとしばらく返信しなかった。

ある日の暇になって携帯をいじっていた時に、そういえばこないだメールもらったなって思い出して、一応お礼はしとこうと返信。

後から聞いたら私が一番返信遅かったって。

あなたは何事もなかったかのように「元気？今度遊ばない？」って返信してきた。

もうなんとも思ってなかったし、彼氏と別れた時だったから遊びに行くことにしてカラオケに行った。

また久々に会ったあなたは、今度は髭まで生やしてた。

あなたは私に「前より可愛くなったね」と言った。

よくわからないの。

あまりタイプじゃないはずなのに、ずっと思い出しもしなかったのに、髭なんて嫌いなのに、どうしてあなたと会うと結局また惹かれるのかな。

でももう気まづくなりたくないから、全然好きじゃない振りをした。

でもあなたに触れてみたくて、悪ふざけのノリで「お互い寂しい独り身だし、恋人みたいに膝の上に乗ってもいい？」と聞いたら、あなたも軽い感じで「いいよ」と言った。

膝の乗った私に「キスしたくなる距離だね」とあなたは言って、自然とキスをした。

何度も何度もキスをして、あなたはついに「ホテル行きたい」って。

実はあなたが好きな私は、軽いフリして「いいよ」って答えた。

どうして私のこと好きじゃないのにそんなに優しくキスをするの？

どうしてそんなに優しく抱くの？

どうして目的果たした後も、私を抱きしめて寝るの？

「気になってる子からなかなかメールの返事もらえないんだよね」っていうあなたに、「告白したらいいじゃん」っていう私。

「負け戦はしたくないよ」って情けない男。

私からはメールも電話もしない。

私からは遊びに誘ったりしない。

あなたからメールがくる

あなたから「会いたい」って言うてくる。

「肌スベスベ、元カノで足ザラザラした子がいて引いたよ」

でも私じゃダメなんですよ。

「すっぴんの方がもっと可愛くなるね」

でも私じゃダメなんですよ。

どんなに楽しく笑い合っても、どんなに気持ちよくなれても、あなたは私を絶対に「好き」とは言わない。

あなたの誕生日の日「誕生日祝って」って日付が変わる寸前にメールがきた。

後から聞いたら、全く同じメールをその気になる子にも送ったって。

「さすがに返信もらえた」って言うあなた。

内容は同じメールでも、送った時の気持ちは全然違うんだよね。

「お祝いに何か奢って」ってメール。

お祝いして欲しい人は私じゃないくせに。

焼肉約四千円、今まで寂しさを埋めてもらったお礼。

「次は生み行こう」

「私夜型だから行かない」

もうあなたとは会わない。

あなたと会うと自信をなくすから。

私の誕生日には、お祝い返しなにもしなくていい。

あなたは一生私を好きにならない。

寂しさを埋めるつもりが、もっと寂しくなった。

こんなの私らしくない。

もう二度と久々はない。

関係を壊す誘いをしたのは、それだけは私からだったね。













約一年前に出会った人がいて、その人は本当に優しいいい人だと思う。

私はその人をあっちゃんと呼んでいる。

この間別れた元彼と知り合うちょっと前に出会ったから、遊んだのは2回だけなのに、私に彼氏ができた後も変わらず、今でもずっと定期的に電話やメールをくれている。

その間あっちゃんも、私が聞いた限りでは2、3人の人に恋をしている。

残念ながらフラれてしまっているけれど。

でも好きな人や気になる人ができても、変わらずあっちゃんは電話をしてくる。

同じうつ病持ちだから、心配してくれているんだろう。

電話に出た時、あっちゃんはまず必ず猫の鳴き真似をする。

わたしがペットの猫のブー太郎を大切にしているからだろうとは思うけど、正直リアクションに困る。

それから次に「ヒロちゃん大丈夫らかー」って必ず聞く。

同じ歳で、私は普通の話しかしれないのに、あっちゃんはなぜか子供に話しかけるような話し方をする。

それもきっと、私を気遣った上での事なんだと思うけれど、正直ちょっと引いてしまう。

「大丈夫だよ、どうしたの？」と聞くと「ヒロちゃんの声が聞きたかったのらー」と言う。

そしてしばらく会社の話、気になる人がいた時はその人の話やあっちゃんの趣味の釣りの話をする。

あっちゃんに気になる人や好きな人ができた時には、私は応援やアドバイスをする。

どんな人なのか聞くと、年齢や性格、知り合ったきっかけ話をした後、あっちゃんは必ず最後に「でもヒロちゃんよりは可愛くないのらー」と言う。

私があっちゃんに聞くのは、たいていパソコンのことと薬のこと。

あっちゃんはその度丁寧に、わからなかったら調べてまで教えてくれる。

会ったこともない私のペットのブー太郎のこともいつも「ブーちゃん元気かにかや？」って気にかけてくれる。

電話を切った後は必ず『ヒロちゃんありがとね』ってメールがくる。

電話をくれるのはいつだってあっちゃんからで、私はただ話を聞いていただけなのに。

『私なにもしてないよ？お礼を言うのは私のほうだよ』と返すと『ヒロちゃんと話せただけで嬉しいから、ありがとうなのら』って返ってくる。

時々気分がのらなくて、私はあっちゃんからの電話に出ない時がある。

そうすると『ヒロちゃん大丈夫るか？無理しちゃダメだよ』ってメールがくる。

私は申し訳ないと思いつつも、しばらく経ってから『電話出れなくてごめんね』とメールする。

するとあっちゃんは『大丈夫なのらー、ヒロちゃんが元気ならいいのら』って答えるんだ。

どんなに返信が遅れてもそう答える。

あっちゃんから好きだと言われたことはない。

他の人には割りと積極的に告白してるけど、私にはそういうことは一切言わない。

あっちゃんは私に何を求めているんだろう。

2回しか遊んでない私にどうしてずっとそんなに優しくしてくれるんだろう。

私はどうしてどんなに優しくされても、あっちゃんを友達以上に思えないんだろう。

そのうちまたあっちゃんが誰かを好きになって、その恋が実ったらあっちゃんはもう私に連絡してこなくなるのかな。

あっちゃんが、あっちゃんを同じように大切に想ってくれる人と幸せになって、何のお返しもできない私のことなんてもう心配しなくなるといい。

私にはそう願うことしかしてあげられないから。

## 人の気持ちの矛盾

---

人は最低限に恵まれていて、安定した所で生きているのに、心の傷とか精神病になったり、自殺したりする。

生きれる環境に住んでいる人が、心を病み最悪自らの命を絶つ。

身体 of いろんな病気の治療法ができたなら、最後に残るのは精神病らしい。

逆に生きることが大変な貧しい国には、精神病はほとんどないらしい。

ストリートチルドレンは、路上で物乞いや靴磨き、売春をしながらでも生きようとする。

不衛生で危険な環境の中、少しの快楽を得る為に麻薬を使いながらも生きようとする。

ある国では、子供は誘拐され少年兵にさせられる。

子供は大人より恐怖により従順になって逃げ出しにくく、純粹であればある程洗脳しやすいかららしい。

その実態はもう最悪で、少年兵の加入の儀式として、逃げ出そうとした子供を殺すところを見せたり、実際に殺させたり、両親、親族、友達を殺させたりして恐怖心を与え、もう村には帰れないようにする。

10代前半の女の子は家事をさせられ、強制的に見知らぬ大人兵の妻になり性相手をさせられる。

女の子でも結果戦闘には加えさせられ、自分の産んだ子供をおぶりながら戦闘する。

そんな少年兵達には、戦闘の恐怖心をなくさせる為麻薬が与えられる。

平和な毎日を過ごしている私には、身近な人を殺させられる時点で限界になって、いっそ自分が殺された方がいいと思ってしまう気がするけれど、現実には自分が死ぬ恐怖で、大切な人を殺しても生きようとするから少年兵が大勢いる訳で。

そんな少年兵を保護しようとする団体はたくさんあって、少年兵達を保護しているけれど、保護されて集まった子供達は皆話すこともなく、目は無気力な感じらしい。

そんな地獄みたいな生活で、無気力な人形状態になりながらも生には固執することを不思議に思う。

貧しくて生きるのが大変な国の人ほど、自殺なんてしない。

安心していられる家、食べ物、娯楽、衛生的な環境にいても、失恋だけでも自殺する人がいる豊かな国。

不思議な矛盾。

親に虐待された子供ほど、親に愛されたい、認められたいと親を求める。

虐待で保護された子供のほとんどが、親に会いたいと言うらしい。

人間の心って本当に不思議。

苦しい国の人達より自分はあきらかに恵まれているのに、幸せって思うより、悲しくて寂しくて苦しいって思う時の方が多いなんて。

涙はもう枯れたというストリートチルドレン。

たまにふと泣きたくなる私は幸せなんだろうなと思った。

物心ついた時から、なぜかいつも人の顔色ばかり伺って、嫌われないようにってやっていた。  
苦手な人にもいい顔して。

気づいたら恋愛依存症になっていて、自分を一番だとわかりやすく大切にしてもらえる、そんな恋愛ばかりに依存していた。

気づいたら人間不信になっていて、よけいに八方美人になっていて。

人間なんて都合が悪くなったら、簡単に離れて行くんだなって思った。

精神科に入院したら、女友達が離れていった。

私が笑顔を忘れたら、バイバイって簡単に。

大丈夫？って親身になってくれた男の人達は、下心のある見返りを求めた同情だけに思えた。

二回目の入院の時に、携帯の電話帳を見てみたら、笑っちゃう位入院したと報告したい人、できる人がいなかった。

偽物だらけのこの世界。

私が一番偽物だったんだと気づいた。

それならいっそなにもかも壊してやろうと思ったら、もう壊すものがなんにもなかった。

## 近づきたい人

---

確実に無理をしているあの人には、つい「大丈夫？」って聞きそうになるけど、答える返事がわかっているから聞けない。

だから「倒れたりしたらぶっ倒すよ」って言うてみたけど、やっぱり結局大丈夫って聞いたのと同じような返事が返ってきた。

あの人は、今の自分のことになると嘘ばかりつく。

嘘バレバレ、ちょっとしか話していない私にでもわかるよ。

今のところ、あの人が自分のことを話した本当だと思うことは、若い頃悪さをたくさんしたこととか、平和に生きていたいと思ったきっかけとか、昔話は多分本当のことのような気がする。

あの人は、人のことは許せるのに、自分のことだけは許してあげられない。

あの人は、コンビニの店員さんにも、買い物をした後「ありがとう」って言う。

「優しいね」って素直に言っているのに、優しくなんてないって言うばかり。

とにかくどんな言葉も、それが綺麗な意味の言葉な程、あの人にはそんなことないって信じてもらえない、届かない。

あの人に「寂しい」「疲れた」「辛い」とか人間らしい弱音や我が儘を言わせたい。

あの人の心の傷口は私には治せないだろうけれど、失った喜怒哀楽の中で、怒らせることならもしかしたらできるかもしれないと、今日もあの人に近づいてみる。

## 楽という寂しさ

---

彼氏がいないと楽。

今日も自由、明日も自由。

彼氏の仕事前に『行ってらっしゃい』仕事後に『お疲れ様』ってメール送る為に時間を気にしなくていい。

どこかに出かける時に、どこに行くってメールしなくていい。

4号でも少し大きい指輪が、お風呂で抜け落ちなくていい。

調子が悪くても会わなくちゃって無理しなくていい。

しばらく会えないことで寂しくならなくていい。

終わりがくることを怖がらなくていい。

だけどたまに「大丈夫」って聞かれたくなる。

今度彼氏ができたら「大丈夫じゃない」って答えて困らせてみようかな。

10回に1回位はそう答えてみようかな。

一緒に寝た時、眠れないのにベッドにいるのが苦痛で、相手が寝静まったのを確認してから、ベッドから抜け出してソファに座っていたけれど、相手が次の日休みだったら「眠れなくて寂しい」って起こしてみようかな。

そうしたら相手はなんて言うんだろう。



## ゆるされる

---

ゆるされるってなんなのか考えていた。

宗教のことを批判するつもりはない。

宗教によって心が楽になって、生きやすくなるんだろうと思うし、理解もできる。

辛ければ辛いほど、なにかに救いを求めたくなる。

極楽浄土だって、そう思わないと生きていけない位に荒れた時代に、多くの人が救われた教えだろうし。

やっぱり心の拠り所が欲しい。

迷うのはきついから、誰かに決めてもらって迷いから解放されたい。

『信ずるものは救われる』その教えにどれだけの人が救われているか、ものすごい数だろう。

刑務所では、月に何度か歌手や芸人などが来て、囚人皆で歌を聴いて泣いたり、笑ったりできる時間が与えられている。

その囚人を怨んでいる人がその姿を見たら、きっとなんでそんなことができるのかと責めるだろうと思う。

死刑囚には、牧師さんから赦しを与えてもらえる権利のある国もある。

遺族からしたら許せないだろう。

どんな理由であれ罪を犯したら、本人のした罪に直接下る罰以外に、家族などいろんな人に影響を及ぼし苦しませること、それも含めた全てのことがその人の犯した罪と罰になる。

私も神社や神棚、仏壇に何度救いを求めたかな。

高校の駅で、足が動かなくていつも通りに電車から降りられなかったあの日に、家出をして神社で泣きながら助けてと祈ったのは覚えている。

でも私は単純だから忘れてしまうんだ。

つい私の気持ちもわかってと求めてしまう。

過去の過ちや今の状態を責められた時、私は許されていないと気がつく、その繰り返し。

人それぞれだからわからないし、答えはきっとどこにもないけれど、誰かがどこかでゆるしていてくれなくても、自分で自分をもうゆるされたと思えたなら、その人はその時点でゆるされたんだと私は思った。

ゆるされたい願いと忘れられたくない願いとなら、私は忘れられたくないと思うと思った。

そんなことを観光に来た日光にいながらもずっと考えていたから、つい下を向きながら歩いてしまっていて、ふと気づいて慌てて顔を上げて見えた景色は、こんな私にもちゃんと綺麗に見

えた。

## 消えない君へ

---

「色のついたせかいはもういない」と言った君を、救いたいと思ったはずなのに、気がついたら私が君を心の拠り所にしてしまっていた。

心が壊れた時、勝手に君のせいにして、君を責めて、救いたいと思ったのと同じ強さで君を傷つけたくなった。

後悔しか残らず、きっともう君の心の中どこにも私はいない。

私も君を忘れようと思っている。

でも忘れられないの。

未だに私は、君との短い思い出を忘れられないでいる。

新しい恋もした。

でも気づくと君を思い出している。

君が心から消えてくれない。

データは消せても君は消えない。

君の声が聞きたい。

名前を呼ぶことすらできないこんな結果になるのなら、あの時君に触れてみればよかった。

私を救ってくれた君に、ありがとう、ごめんねと伝えたい。

もう届かないとわかっている。

きっとこの言葉は君の目にとまることはない。

どうしたら君とまた繋がれるかな。

どうしたら私を許してくれるかな。

ただ君とまた繋がりたい。

微かでもいいから。

どうしたらこの願いは叶うかな。

明日になってもきっと君は薄れない。

また笑って。

またメールしたい、電話したい。

私には、もう届かないこの言葉であがくことしかできない。

消えない君へ

今の君のせかいには、色がついていますか？